

<p>事業名</p>	<p>一般国道6号 <small>たいらかまた</small> 平鎌田交差点改良(直轄) (福島県いわき市平鎌田)</p>	
<p>事業着手:平成15年度</p>	<p>完成・供用の目標年度:平成20年度完成予定</p>	
<p>事業の必要性・事業の概要</p>	<p>「事業の必要性」 平鎌田交差点は、右折車線が設置されておらずピーク時には渋滞が発生し主要渋滞ポイントに指定されています。右折レーンが確保されていないことから右折待ち車両に起因する渋滞や事故が発生しており、交通機能や安全性の観点から交差点の改良が求められています。</p> <p>「事業の概要」 平鎌田交差点においては、右折車線の設置や歩道のバリアフリー化を図り総合的な交通安全事業を推進します。</p>	<p>福島県</p> 
 <p>▲右折車両により渋滞が発生</p>	 <p>▲歩道の整備状況(上り線側)</p>	
<p>平成20年度の事業内容</p>	<p>○交差点改良工事を完成させる予定です。</p>	
<p>事業効果</p>	<p>《整備後の効果》</p>	
<p>《整備後の効果》</p>	<p>○交通渋滞が緩和されるとともに、交差点の安全性が向上します。 ○歩道のバリアフリー化が図られ、安心して快適な歩行空間が確保されます。</p>	

強い東北の創造

事業名	一般国道289号 甲子道路(直轄権限代行) (福島県南会津郡下郷町～西白河郡西郷村)
------------	---

事業着手:平成7年度	完成・供用の目標年度:平成20年度完成予定
------------	-----------------------

事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

一般国道289号における当該区間には、延長約6.9km(甲子峠)が交通不能区間となっております。

現在、南会津地方から県南地方までの間は、険しい峠に阻まれ遠く迂回することを余儀なくされています。当該地方の広域的な交流・連携の推進を図るうえでも通行不能区間解消等の早急な対策が必要となっております。



「事業の概要」

甲子道路は交通不能区間解消を目的とした延長約5.9kmの2車線道路で直轄権限代行区間として事業を進めています。

甲子道路の整備により、距離と時間が短縮され、地域間交流・連携が強化されます。



▲現在の国道289号



▲供用に向け工事が進む甲子道路



▲甲子道路の整備効果

平成20年度の事業内容

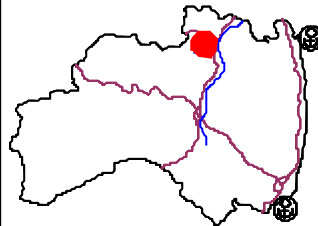
○平成20年度は、管理施設工事及び舗装工事等を推進し、年内の完成供用を図る予定です。

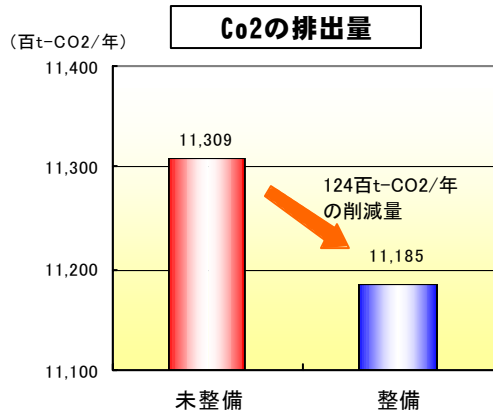
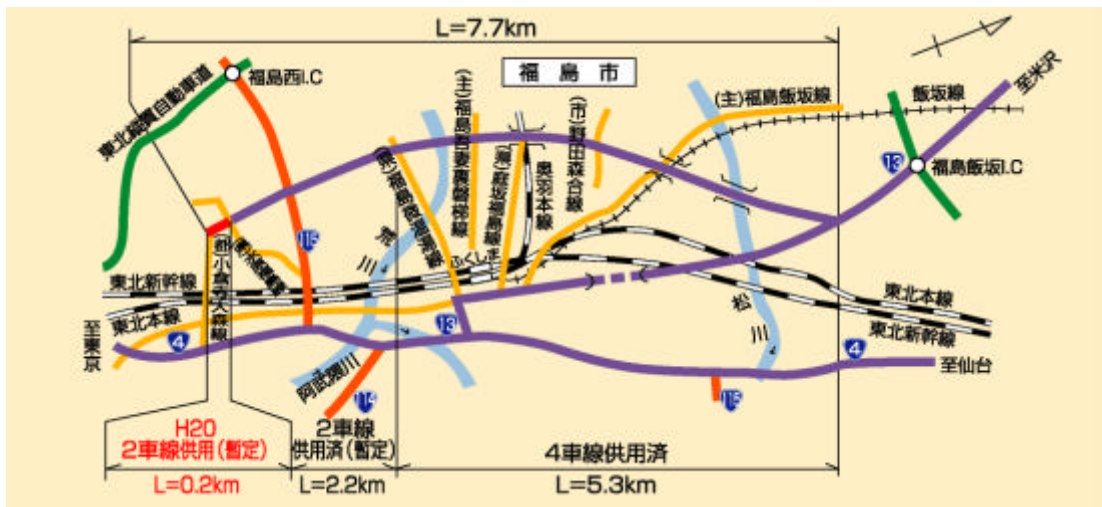
事業効果

- 通行不能区間の解消により南会津地方と県南地方の地域間交流が期待されます。
- 時間短縮効果があります。(下郷町～白河市間 現況約80分→整備後約50分 約30分の短縮)

事業名	一般国道13号 福島西道路(直轄) (福島県福島市)
-----	-------------------------------

事業着手: 昭和 57 年度	完成・供用の目標年度: 平成20年度全線供用予定
----------------	--------------------------

<p>事業の必要性・事業の概要</p> <p>「事業の必要性」 福島西道路と並行する国道4号、13号は、交通容量の不足から慢性的な交通渋滞を引き起こしているとともに、騒音等沿道環境が悪化し、早急な対策が必要となっています。</p> <p>「事業の概要」 福島西道路は、福島市街地における交通混雑解消、交通環境改善、交通事故の低減等を目的とした延長7.7Kmのバイパス事業です。</p>	<p>福島県</p> 
---	--



▲福島西道路の渋滞状況

平成20年度の予定	○これまでに7.5Kmを供用しており、平成20年度には、L=0.2Kmについて2車線暫定供用を図り全線供用を図る予定です。
------------------	---

事業効果	○CO ₂ 排出量が年間12,400t削減されます。
-------------	---------------------------------------

魅力ある都市づくり 都市内交通の円滑化

<p>事業名</p>	<p>一般国道49号 <small>たいら</small> 平バイパス(直轄) <small>じょうばんかみやだまち</small> (福島県いわき市常磐上矢田町~<small>よしままちきたよしま</small> いわき市好間町北好間)</p>		
<p>事業着手: 昭和56年度</p>	<p>完成・供用の目標年度: 平成20年度一部完成予定</p>		
<p>事業の必要性・事業の概要</p>	<p>福島県</p>		
<p>「事業の必要性」 一般国道49号平バイパスにおける交通需要は、平成7年の全線暫定供用後も年々増加し続けており、交通が集中する区間や主要交差点付近等で交通混雑が発生しています。また、平バイパスは重要港湾「小名浜港」と常磐自動車道いわき中央ICやいわき好間中核工業団地等を連携するアクセス道路であり、アクセス機能強化が求められております。</p>			
<p>「事業の概要」 一般国道49号平バイパスは、いわき市の市街地部の交通渋滞・沿道の道路環境など、交通をとりまく環境の改善と主要幹線道路としての機能強化を目的とした、いわき市常磐上矢田~同市好間町に至る延長7.7kmの道路です。平成7年9月に全線暫定供用をし、引き続き混雑区間の4車線化、主要渋滞交差点の立体化等を推進し、一層の機能強化を図っております。 平成20年度は平バイパスにおける主要渋滞ポイントの渋滞緩和を含む、いわき市内郷御厩町(番匠地交差点)~同市好間町中好間(向山交差点)間(L=1.8km)の4車線化事業を推進し、そのうち、いわき市内郷御台境町~好間町中好間の0.9km間について完成4車線供用を図る予定です。</p>			
			
<p>▲位置図</p> 			<p>▲内郷地区の渋滞状況</p> 
<p>▲平バイパス全線4車線化完成後の効果</p>			<p>▲供用箇所全景</p>
<p>平成20年度の予定</p> <p>○平成20年度は、いわき市内郷御厩町~好間町中好間間について橋梁工事及び付属施設、舗装工事を実施し、そのうち、いわき市内郷御台境町~好間町中好間間の0.9kmについて完成4車線供用を図る予定です。</p>			
<p>事業効果</p> <p>○渋滞が解消され、平市街地及び重要港湾小名浜港と常磐自動車道いわき中央IC(好間工業団地)のアクセス機能強化が図られます。 ○平市街地の通過時間が短縮されます。(現況: 27分→全線4車線化後: 7分 約20分短縮)</p>			